

## モンゴル

### 国内経済の概況

2005年第3四半期のモンゴル経済は、概ね改善の方向を示している。消費者物価上昇率と貿易収支の赤字は低下し、国家財政収支は2四半期続けて黒字となった。一方で産業生産額は2四半期連続の低下を記録している。

第3四半期の産業生産額は、製造業の生産の落ち込みにより前年同期比13.6%減となった。製造業の生産額は第1～3四半期で前年同期比28.3%の減少となっている。一方、鉱業とエネルギー部門の生産額は、第1～3四半期にそれぞれ前年同期比10.4%、3.6%の拡大を記録している。

9月の消費者物価上昇率は前年同月比11.6%で、7月の同16.0%から低下している。これは食料品、家庭用品の価格の低下、及び交通、通信、教育文化サービスの価格の安定によるものである。

国家財政収支は第2四半期、514億トグリグ、第3四半期、539億トグリグと二期連続の黒字となった。第1～3四半期の財政収入は、予算額を22%上回っており、一方で支出額は予算額を15%下回っている。

第3四半期における登録失業者数は概ね安定しており、9月末で35,300人となっている。

### 対外貿易の概況

2005年9月の為替レートは1ドル=1,215トグリグで、

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年 1Q	2005年 2Q	2005年 3Q	2005年 1 6月	7月	8月	9月
GDP成長率(対前年比:%)	1.1	1.1	4.0	5.5	10.7	-	-	-	-	-	-	-
産業生産額(対前年同期比:%)	2.4	7.4	3.8	6.0	10.5	2.6	6.7	13.6	3.0	6.7	8.3	7.1
消費者物価上昇率(対前年同期末比:%)	8.1	11.2	1.6	4.7	11.0	12.4	16.0	11.6	13.6	16.0	11.7	11.6
国内鉄道貨物輸送(百万トンキロ)	4,283	5,288	6,461	7,253	8,878	2,474	2,486	2,478	4,960	794	838	846
登録失業者(千人)	38.6	40.3	30.9	33.3	35.6	37.8	36.5	35.3	36.5	35.2	35.5	35.3
対ドル為替レート(トグリグ、期末)	1,097	1,102	1,125	1,168	1,209	1,192	1,193	1,215	1,193	1,193	1,205	1,215
貿易収支(百万USDドル)	78.7	116.2	166.8	185.1	151.4	43.1	60.4	41.2	103.5	23.1	24.0	5.9
輸出(百万USDドル)	535.8	521.5	524.0	615.9	869.7	168.4	228.2	271.6	396.6	83.9	81.2	106.5
輸入(百万USDドル)	614.5	637.7	690.8	801.0	1,021.1	211.5	288.6	312.8	500.1	107.0	105.2	100.6
国家財政収支(十億トグリグ)	78.6	50.4	71.6	61.9	16.4	9.8	51.4	53.9	41.6	20.5	5.0	28.4
成畜死亡数(千頭)	3,491	4,759	2,918	1,324	292	350	195	31	545	0	0	31

(注) 登録失業者数は期末値。消費者物価上昇率は期末値。

(出所) モンゴル国家統計局「モンゴル統計年鑑」、「モンゴル統計月報」各号 ほか

7月の1ドル=1,193トグリグからは若干減価している。

貿易総額は3四半期連続で増加している。これは輸出入両方の増価によるものである。第3四半期の貿易総額は5.8億ドル、輸出は2.7億ドル、輸入は3.1億ドルとなった。貿易収支は改善傾向にあり、9月は590万ドルの黒字となった。

第1～3四半期のモンゴルの輸出のうち、中国向けはほぼ半分を占め第一位であり、カナダが13.1%、米国が9.9%、ウズベキスタンが1.9%、ロシアが1.8%で、これに次いでいる。これらの上位5カ国で輸出全体の76.7%を占めている。品目別では銅精鉱、金、カシミア、縫製品が主要輸出品となっており、これらの品目で全体の70.5%を占めている。

一方、第1～3四半期のモンゴルのロシア、中国からの輸入は、それぞれ32.2%、28%であった。この他の主な輸入相手国は日本6.6%、韓国5.4%、米国3.6%である。これらの上位5カ国で輸入全体の76.8%を占めている。

### 鉄道輸送の概況

貿易の拡大と、国内及びトランジット輸送への需要の増大で、第3四半期の鉄道貨物輸送量は24.8億トンキロとなった。第1～3四半期の輸送量74.4億トンキロで、前年同期を16.2%上回っている。なお、鉄道は貨物輸送全体(商業ベース)の96%を占めており、残りは道路3.9%、航空0.1%となっている。

(ERINA調査研究部研究員 エンクバヤル・シャグダル)